

BEETHOVEN

9th Symphony

指揮者 柳澤 寿男

日本国外務大臣表彰受賞記念コンサート

L.v.ベートーヴェン

交響曲第9番 二短調 作品125 [合唱付]

World Peace Concert Orchestra 管弦楽

World Peace Concert Choir 合唱

天羽 明恵 ソプラノ

鳥木 弥生 メゾ・ソプラノ

村上 敏明 テノール

近藤 圭 バリトン



2024 12/25 水 19:00 開場
19:30 開演

Wednesday, December 25, 2024, 19:30, at Itabashi Culture Hall

板橋区立文化会館 大ホール

東武東上線「大山」駅 北口から徒歩約3分、都営三田線「板橋区役所前」駅A3出口から徒歩約7分

チケット: 全席自由 ¥1,500 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

[主催] 株式会社柳澤寿男事務所
[協力] アマテウス・ソサイエティー管弦楽団、フロースト交響楽団、J orchestra

チケットに関するお問い合わせ

TEL : 090-7009-6985 (株式会社柳澤寿男事務所)

E-Mail : office.t.yanagisawa@gmail.com

 teket

オンラインチケット テケト

<https://teket.jp/11817/40887>



指揮者 柳澤 寿男

日本国外務大臣表彰受賞記念コンサート

コソボ紛争後、国連コソボ暫定行政ミッション下のコソボフィルハーモニー交響楽団首席指揮者に日本人指揮者柳澤寿男が就任しました。戦後混沌とする状況下において、17年に渡り、ベルリオーズ、ブラームス、マーラー、ストラヴィンスキーなど次々とコソボ初演を果たし、コソボにおけるクラシック音楽文化史を築き上げてきました。ベートーヴェン第九のコソボ初演においても、2019年6月26日、プリシュティナ市の中心地でNATO空爆地にほど近い、スカンデルバルク広場の野外特設ステージにて柳澤寿男の指揮で執り行われました。「すべての人々が同胞となる」という第九の音楽が、現代ではヨーロッパの共通の国歌とも謳われ、共存共栄を願う調べがコソボの空に響き渡りました。2019年には、コソボ政府より「コソボ大統領勲章(文化功労賞)」を、2024年には、日本政府より「日本国外務大臣表彰」を柳澤寿男が受賞しました。多くの皆さんの尽力を得てこそこの受賞、日本とコソボ文化交流に携わった、日本のアマチュア・プロフェッショナルの皆さんと共にオーケストラ・合唱団を組織し、日本を代表する歌手の皆さんと共に、今まさに世界の共存共栄を願う「歓喜の歌」が響き渡ります!



柳澤 寿男 指揮者

パリ・エコール・ノルマル音楽院指揮科に学ぶ。東京国際音楽コンクール(指揮)第2位。スイス・ヴェルビエ音楽祭指揮マスタークラスオーディションに合格し、ジェイムズ・レヴァイン、クルト・マズアの各氏に師事。2005-2007年、マケドニア旧ユーゴ国立歌劇場首席指揮者。2007年、コソボフィル首席指揮者に就任。同年、旧ユーゴの民族共栄を願ってバルカン室内管弦楽団(以下BCO)を設立。ジュネーブ国連欧州本部総会議場をはじめ、ニューヨーク国連総会に付随するイベント「バルカン・リーダーズ・サミット」、ウィーン、ベオグラード、サラエボ等でWorld Peace Concertを開催し、バスカル・ロジェ、ペーテル・ヤブロンスキー、諏訪内晶子の各氏等と協演。

2022年10月には、ローマ・バルコ・デッラ・ムジカにおいて、BCOにローマ歌劇場管弦楽団等のメンバーを交え、コリア・ブラッハー氏をソリストに迎え演奏。また、ベオグラード国立歌劇場「ラ・ボエーム」やサンクトペテルブルク響、ブラハ響、ロイヤル・バンコク響等、国内外の多くのオーケストラに客演。現在、BCO音楽監督、コソボフィル首席指揮者、ベオグラード・シンフォニエッタ名誉首席指揮者、坂本龍一氏が音楽監督を務める震災復興のオーケストラ・東北ユースオーケストラ指揮者、京都フィルハーモニー室内合奏団ミュージックパートナー。CD「ドヴォルザーク・チャイコフスキー 絃楽セレナーデ(ベルリン・アウディター)」をリリース。著書に「バルカンから響け! 歓喜の歌(晋遊舎)」。



天羽 明恵 ソプラノ

東京藝術大学卒業。文化庁在外研修員及び、五島文化財団オペラ新人賞を受賞しドイツへ留学。ラインスベルク音楽祭で「ナクソス島のアリアドネ」のツェルビネッタで欧州デビューし、ソニア・ノルウェー女王記念第3回国際音楽コンクール優勝。その後ドイツを拠点としてジュネーブ大劇場、ザクセン州立歌劇場、ベルリン・コーミッシェ・オペラーなど欧州各地の歌劇場や音楽祭に出演。国内でも新国立劇場、サントリーホール・ホールオペラなどへ定期的に登場し、主要なオーケストラの定期公演にもソリストとして出演。2020年11月にソリアルバム「4つの最後の歌」リリース。日本ロッシーニ協会運営委員。サントリーホールオペラアカデミー・コーチング・ファカルティ。



鳥木 弥生 メゾソプラノ

E. オブラストフオに見出され東欧で活動を開始。「ヴェルディの声」等、数々の国際コンクールでの入選、入賞を経て、オペラデビューはフィレンツェ市立歌劇場公演「ジャンニ・スキッキ」。イタリアでの「外套」、フランスでのビゼー「ジャミレ」主演、スペインでの「蝶々夫人」スズキ等、各地で好評を得る。2021年秋 Opera Hong Kong にスズキ役でデビュー。国内でも東京芸術劇場、新国立劇場、日生劇場等に主要な役で出演を重ねる。2015年「岩城宏之音楽賞」受賞。「メゾソプラノ地位向上委員会」「ゲキジョウシマイ」などユニークな活動や、WebマガジンONTOMOでの恋愛相談など翻訳、執筆でも注目される。洗足音楽大学講師。yayoitotiki.com



村上 敏明 テノール

国立音楽大学声楽学科卒業。文化庁在外研修員他の奨学金を得て、2001年より2007年までイタリア・ボローニャに留学。2002年に、オルヴィエート・マンチネリ劇場にて「リゴレット」マントヴァ公爵でヨーロッパデビュー。藤原歌劇団「ラ・ボエーム」「ルチア」「仮面舞踏会」、新国立劇場「椿姫」「蝶々夫人」「愛の妙薬」「カルメン」等に主演し、常に最大級の賛辞を受けている。在伊中、15の国際声楽コンクールで優勝または上位入賞。2012年より、NHKニューイヤーオペラコンサートに12年連続出演。八王子コミュニティオペラ芸術監督。勝浦歌劇団総監督。藤原歌劇団団員。人気実力ともに日本を代表するテノール歌手として、活躍の幅を広げている。



近藤 圭 バリトン

長野県出身。国立音楽大学大学院を首席で修了。新国立劇場オペラ研修所第9期修了。ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生として渡独。『ドン・ジョヴァンニ』のタイトルロールでオペラデビュー。小澤征爾指揮『子どもと魔法』に大時計役、東京二期会『フィガロの結婚』フィガロ、日生劇場『ラ・ボエーム』ショナール、小澤征爾音楽塾『カルメン』ダンカイロ、新国立劇場には『魔笛』パパゲーノ、『夏の夜の夢』ディミートリアス、『ドン・ジョヴァンニ』マゼット、『蝶々夫人』シャープレス等で出演し、これまで演じた役は50を超える。『第九』や『カルミナ・ブラーナ』などのソリストとしても活躍している。東京二期会会員